

令和3年度 幼稚園評価 結果報告

令和4年1月、保護者の方にアンケートを依頼しました。アンケート結果は以下の通りです。

No.	設問	A	B	C	D
		とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	わからない
1	子どもは喜んで登園し、遊びや生活を楽しんでいる。	61%	36%	3%	
2	子どもは先生や友達に親しみを感じ、安心して生活している。	82%	18%		
3	幼稚園は子どもが基本的な生活習慣を身に付け、自分の体や健康に関心をもてるような指導を取り入れている。	70%	27%	3%	
4	幼稚園は、子どもの主体性を大切にされた遊びの中で一人一人に応じた指導や配慮をしている。	58%	32%	5%	5%
5	幼稚園は、外国人講師・体育講師・右脳の発達プログラム講師を定期的に派遣し、その専門性を生かしながら園児の教育活動の向上に努めている。	76%	24%		
6	幼稚園は、参観、保護者会、園だより、などを通じ教育内容や子どもの様子をわかりやすく説明している。	61%	35%	4%	
7	幼稚園は、栽培活動や絵本の読み聞かせ、季節の行事など、子どもたちに豊かな体験活動をする機会や場をつくったり工夫したりしている。	85%	15%		
8	幼稚園は集団生活のルールを知り、集団行動に必要な態度を身に付けるなど社会性や人とかかわる力を育成する指導を行っている。	85%	15%		
9	幼稚園は、友達や異年齢、高齢者とのかかわりの中で優しさや思いやりの気持ちを育み、音楽やお話、創作活動、自然などに触れる中で感性を大切にするなど豊かな心の育成を目指した指導を行っている。	43%	39%	10%	8%
10	幼稚園は、地域や小学校などとの交流を通して、他施設や地域との連携を図った教育を進めている。	40%	40%	11%	9%
11	幼稚園は、避難訓練や安全指導を通して子どもたちに自分で危険を回避しようとする姿勢を育て、園内の環境整備や安全対策に努めている。	83%	15%	2%	
12	幼稚園は、預かり保育や園庭開放、教育相談など、子育ての支援に努め、保護者と連携して教育活動の充実に努めている。	81%	17%	2%	

上記の結果を踏まえ、職員と自己評価を実施しました。

- ・創立者の建学の精神を基に園の教育目標に向かって進む中で、コロナ禍のため感染症対策を施しながら出来る限りのカリキュラムを実施してきた。
- 次年度は、コロナとの共生の中で、行事などの変更を含め、カリキュラムの見直しが必要だという意見があった。

自己評価をもとに、外部の地域共同学校委員の方（2名）と幼稚園保護者の方（2名）に代表として評議員になっていただきまして、幼稚園評価を実施しました。

- ・「地域との連携や他施設との交流」については、コロナ禍では限界があった。園から人材派遣など交流は試みたが、先方からの断りもあるため、コロナ前と同じようには出来なかった。評議委員からも「止むを得ない、他の施設も出来ていない」という意見があった。
- ・行事などの「お知らせ」については、紙媒体と電子メールを利用し、確実にかつスピーディーに保護者へ連絡をしているつもりだったが、かえって分かり辛くなっているという指摘があった。次年度は工夫の必要性があり、課題になった。
- ・体育指導のカリキュラムでは目標を立てて指導計画をする中で、愛情を持って励まし、切磋琢磨する事で出来なかったことが出来るようになったりするので、講師・保護者・園共に連携を深めていく必要がある。英語やこぐま学習の講師に関しても同様に連携を深めていくことで、更なる教育効果が上積みされるので、次年度の課題になった。
- ・令和3年度、長引く緊急事態宣言のため新型コロナ感染拡大予防のため、行事の計画が立てられなかった。そのため、年間計画表は作成出来なかった。「令和4年度は中止または延期になる行事もあるかもしれないが、年間計画表は作成した方が良い」という意見があり、早めに対応する事とした。年間計画表を基に、外国人講師とのハロウィーンパレードの計画やカリキュラムの立案が立てやすくなり、また体育指導においても運動会のカリキュラムの立て方も変わってくるので、善処する事にした。
- ・クリスマス会など行事は、簡素な内容に変更したらどうか、という意見があり次年度に工夫することにした。外国人講師にも伝え、関連する英単語の学習などを再検討し、さらなる学習効果が望めるようにすることとした。

園より…

- ・令和2年度に引き続き、令和3年度も保護者の皆様や園児に感染症対策へのご理解・ご協力を頂きまして、感謝しています。ありがとうございました。
また、様々な行事にお手伝いをして下さった役員のお母様方にお礼申し上げます。
令和4年度も新たな新型コロナ変異ウィルスの影響で行事が縮小されたり、交代制になったりするかもしれませんが、職員一同、子どもたちの未来のため、様々な経験を少しずつでも出来るように工夫しながら努めてまいります。
反省点や改善点は、次年度に活かせるように努めたいと思っています。